

計画事業番号	00440	事務事業名	消防水利整備事業	担当部署	消防本部警防課	電話	6201
--------	-------	-------	----------	------	---------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	消防法第20条第2項、消防水利の基準第1条			
事務事業開始年度	—		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境に つつまれた安全なまち	
	(第 5 節) 消防・救急体制の充実	
	(施策 1) 消防体制の充実	
2 対象		
3 目的と内容	<p>・火災等の発生時に速やかに消火活動を行えるよう消防水利を設置するとともに、耐用年数30年を経過した老朽消火栓を水道事業が行う配水管改良事業に併せ計画的に更新する。 [前回推進計画からの変更点] 消火栓更新は、配水管改良事業の計画変更に伴い実施箇所を見直した。</p>	
4 実施内容 (手段)	2 8 年度 まで	<p>新設 平成26年度 消火栓設置 2基(西の里北2丁目地先、里見町3丁目5-8地先) 平成27年度 消火栓設置 2基(大曲工業団地2丁目、輪厚中央2丁目6-2) 平成28年度 消火栓設置 2基(北の里54-1地先、大曲緑ヶ丘4丁目6-1地先) 防火水槽設置 1基(松葉町2丁目 ききょう公園)</p> <p>更新 平成26年度 消火栓設置 9基(若葉町4基、北進町1基、泉町3基、大曲南ヶ丘1基) 平成27年度 消火栓設置 7基(松葉町4基、里見町1基、高台町2基) 平成28年度 消火栓設置 6基(高台町2基、緑要町2基、大曲並木3丁目1基、共栄1基)</p>
	2 9 年 度	<p>昨年と同様の事業である。なお、防火水槽設置については緊急防災・減災事業債を活用する。 ・消火栓新設 2基 (大曲幸町2丁目8-4地先、大曲末広7丁目7-1地先) ・消火栓更新 6基 (高台町3基、里見町2基、大曲並木1基) ・防火水槽設置 1基 (山手町2丁目 すみれ公園)</p>

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
消火栓の新設2基 防火水槽の設置1基 消火栓の更新6基	消火栓新設 2基 防火水槽設置 1基 消火栓更新 6基	消火栓の新設2基 防火水槽の設置1基 消火栓の更新6基	消火栓の新設2基 防火水槽の設置1基 消火栓の更新6基	消火栓の新設1基 防火水槽の設置1基 消火栓の更新6基	消火栓の新設1基 防火水槽の設置1基 消火栓の更新6基	防火水槽の設置1基 消火栓の更新6基	防火水槽の設置1基 消火栓の更新6基

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		
1次評価	現状継続	現状継続とする。消防水利整備計画に基づき整備する。また、老朽化した消火栓を水道事業の配水管更新計画と平行して更新する。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			16,113		18,061		16,951		15,573	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		8,700		8,700	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	10,200		18,000		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	5,913		61		8,251		6,873	
	① 合計	16,113		18,061		16,951		15,573		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	2,520	0	2,520	0	2,520	0	2,520	0	
総事業費①+④			18,633		20,581		19,471		18,093	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
活動指標	① 消火栓整備数 防火水槽整備数()	目標値		2(1)		2(1)		1(1)		0(1)	
		実績値		2(1)							
	② 消火栓累計 防火水槽累計()	目標値		522(84)		524(85)		525(86)		525(87)	
		実績値		522(84)							
③ 消火栓更新	目標値		6		6		6		6		
	実績値		6								
④	目標値										
	実績値										
成果指標	① 消防水利充足率 【水利合計÷基準数(619)】	目標値		97.9		98.4		98.7		98.9	
		実績値		97.9							
	② 消火栓更新 【更新消火栓÷更新消火栓】	目標値		100		100		100		100	
実績値			100								
③	目標値										
	実績値										
【指標の定義(算式等)】											

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	消火活動をするために必要である消防水利は、市が計画的に設置及び更新(維持・管理)をしなければならない業務を担っていることから、事業の妥当性や有効性・公平性は確保されている。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	市民が安心・安全に暮らせる生活環境の整備を進めるため、無水利地区の解消に向け、概ね計画に基づいて整備が進んでいる。今後も老朽化した消火栓を更新(維持・管理)し、災害発生時に不具合が生じないよう維持管理をしている。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	災害時における消防水利の適正配置を確保するため、消火栓及び防火水槽を整備することで、地域の充足率は向上している。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	消防に必要な水利施設は、消防水利の基準に基づき充足率の向上に努め、他の公共事業と調整を図り、経費削減に努力する。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	---	------------------------------------

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--